

平成28年度 五泉市学校保健部 活動報告

部長 上澤田 奈保子

1 研究主題

児童生徒の「生きる力」を育む学校保健活動の充実

2 研究の内容及び概要

子どもたちを取り囲む様々な健康課題の一つ、情報機器の使用肥大からもたらされる健康上の課題を解決するために、「メディアと上手につきあうことができる児童生徒の育成」を、前年度に引き続き追求していく。

【研究仮設】

メディアと上手につきあうことができるようになれば、いくつかの健康課題の改善が図られ、学習時間や睡眠時間が増加し、生活習慣の改善につながる。

3 研究の実際

(1) 研修会 8月

講話 「メディアと上手につきあうことができる児童生徒の育成を目指して」

講師 五泉市教育委員会学校教育課 指導主事 金 洋輔 様

(2) 授業研究 9月

「メディアと楽しくつきあおう（1年）」	五泉南小学校	養護教諭	酒井 佐恵子
「睡眠改善作戦（3年）」	川東小学校	養護教諭	渡邊 千代子
「メディア大作戦（6年）」	橋田小学校	養護教諭	神田 梨沙



(3) 生活実態調査の実施、比較検討、分析 10月、12月

(4) 中学校区ごとに生活習慣改善に向けた取組についての検討 8月、10月

(5) 全市一斉アウトメディアデー(11月20日)についての共通理解と取組 メディア使用2時間アンケートの実施(1・2学期)と結果考察

4 成果と課題

今年度の成果として、アウトメディアに向けた指導体系を構築できたことがあげられる。各中学校区で低学年、中学年、高学年、中学校と各発達段階に合わせ、メディアと上手にかかわっていくための指導を展開できるよう考えてきた。また、考えた指導内容に基づき実際に授業や保健指導を行い、児童・生徒への効果についても検証できたことがよかった。

今後も、メディアと上手にかかわっていくための指導を展開し、よりよい生活習慣の改善に向けて指導を充実させたい。